

# 第37回日本中毒学会総会・学術集会プログラム

第1日目 7月17日(金)

第1会場(大ホール)

9:00～10:00

## 【教育講演1】

一酸化炭素中毒と高気圧酸素治療

琉球大学病院高気圧治療部 合志 清隆  
座長：日赤和歌山医療センター 辻本登志英

10:00～12:30

## 【シンポジウム「危険ドラッグ — その現況と対策 —」】

座長：新潟市民病院 広瀬 保夫  
名城大学 野田幸裕

1. 危険ドラッグ撲滅には、法整備とともに危険ドラッグ依存症に対する対策が不可欠である  
東京都立墨東病院救命救急センター 明石 暁子
2. 当院に救急搬送されフェンシクリジン類中毒が考慮された34例の検討  
国立国際医療研究センター病院救急救命センター救急科 佐藤 洋祐
3. 3年間の千葉大学法医学解剖における危険ドラッグ関連事例の検討  
千葉大学大学院医学研究院法医学 本村あゆみ
4. 危険ドラッグで生じた中毒症状と血中濃度の関係について  
岩手医科大学救急医学講座、岩手医科大学薬物毒物検査部門 藤田 友嗣
5. LC-MS/MSによる危険ドラッグ $\alpha$ -PVP および4-MeO- $\alpha$ -PVPの同時迅速分析法の検討  
愛媛大学大学院医学系研究科法医学講座 浅野 水辺
6. 複数種の合成カチノン及び3MeO-PCP摂取により死亡したと考えられる一剖検例  
東京大学大学院医学系研究科法医学、千葉大学大学院医学研究院法医学 楨野 陽介
7. 危険ドラッグは世界最強のハードドラッグである  
— 押し寄せる重症化、国際化の波に対して我々はいかに対応をすべきか —  
札幌中央病院腎臓内科 横山 隆
8. 血中濃度が定量分析できた $\alpha$ -PVP急性中毒の臨床所見  
東海大学医学部外科学系救命救急医学 梅鉢梨真子
9. 当院における危険ドラッグ搬送例についての検討  
独立行政法人国立病院機構災害医療センター救命救急センター 小原佐衣子

13:00～14:00

## 【教育講演2】

救急医療機関における物質乱用・依存への対応

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 松本 俊彦  
座長：北里大学メディカルセンター 上條 吉人

14:00～16:00

【合同シンポジウム「臨床中毒学と毒性学 — そのコラボレーション —」】

座長：藤田保健衛生大学 武山 直志  
北里大学 福本真理子

1. LD50値による毒性評価と行政利用

国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部 森田 健

2. 非臨床・臨床試験結果は、ヒト急性中毒をどこまで担保できるか

— ヒトの急性中毒でみられる症状と非臨床・臨床試験結果との整合性 —

杏林大学医学部救急医学 山口 芳裕

3. 基礎薬理研究での危険ドラッグに対する取り組み

星薬科大学 鈴木 勉

4. 危険ドラッグの臨床的特徴とその後の依存症治療

埼玉県立精神医療センター 成瀬 暢也

5. ヒトの急性中毒症状を動物実験で再現できるか

— 有機リン剤等曝露後の遅発性毒性の発現実験より —

国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部 菅野 純

16:00～17:00

【教育講演3 クリニカル・トキシコロジスト認定セミナー】

解毒剤1：「メチレンブルー」

さいたま赤十字病院救命救急センター 清田 和也

座長：武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎

## 第2会場（小ホール）

10:00～11:00

【白熱ディベート1「CO中毒に高気圧酸素治療は必須である」】

座長：琉球大学 合志 清隆

Pro CO中毒に高気圧酸素治療は必須である

やざわ虎クリニック 矢澤 和虎

Con 急性一酸化炭素中毒に対する高気圧酸素治療について

山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野 藤田 基

11:00～12:00

【白熱ディベート2「急性中毒治療に血液浄化療法は有効である」】

座長：大阪赤十字病院 松原 峰生

Pro 重症急性中毒に対する血液浄化療法の有効性 — 多元的視点から見た新たな可能性を考える —

大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 吉永 雄一

Con 急性中毒治療に血液浄化法は有効である — Conの立場から

大阪府立急性期・総合医療センター腎臓・高血圧内科 林 晃正

14:00～15:00

【白熱ディベート3「胃洗浄は服毒後3時間以内でないという意味が無い」】

座長：大阪医療センター 定光 大海

Pro 胃洗浄は服毒後3時間以内でないという意味が無い

さいたま赤十字病院救命救急センター 清田 和也

Con 胃洗浄は服毒後3時間以内でないという意味が無いとはいえない

日本医科大学高度救命救急センター 宮内 雅人

15:00～16:00

【白熱ディベート4「自殺企図予防には精神科医の処方量減少が有効である」】

座長：和歌山県立医科大学 篠崎 和弘

Pro 自殺企図予防には精神科医の処方量減少が有効である

北里大学メディカルセンター救急センター 上條 吉人

Con 自殺企図防止には精神科医の処方量減少が有効である — Conの立場で

日本赤十字社和歌山医療センター 東 睦広

16:00～17:00

【白熱ディベート5「覚醒剤中毒患者を診たときは警察に届ける」】

座長：前橋赤十字病院 中野 実

Pro 覚せい剤中毒患者を診たときは警察に届ける

杏林大学総合政策学部 橋本雄太郎

Con 私は通報しない — 医療者として何を優先すべきか

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 松本 俊彦

### 第3会場（特設会議室）

9:00～10:00

【一般演題1「患者対応（1）」】

座長：神戸大学 西山 隆

1. 当院の急性薬毒物中毒への対応に対する課題

富士重工業健康保険組合太田記念病院救急科、東海大学医学部外科学系救命救急医学 山本 理絵

2. 自殺未遂/既遂ハイリスク者に対する地域支援の試み — 自死におけるpreventionとしての人材育成 —

奈良県立医科大学附属病院 厚坊 浩史

3. 高齢者徐脈における薬物の影響を考える

北関東循環器病院救急総合外科 荻野 隆史

4. 一宮市立市民病院における中毒診療の現状と課題

一宮市立市民病院救命救急センター救急科 土井 智章

5. 日本中毒情報センターで受信した医療用医薬品による自殺企図の実態調査

公益財団法人日本中毒情報センター 荒木 浩之

6. 薬物過量服用患者における重症化予測因子の有用性の検証

杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター 樽井 武彦

10:00～11:00

【一般演題2「患者対応（2）」】

座長：広島大学 岩崎 泰昌

7. 中毒医療における薬剤師の関わり

たんぼぼ薬局 森 博美

8. 新たな簡易薬物スクリーニングキット Triage TOX Drug Screen の有用性について

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院救命救急センター救急科 小林憲太郎

9. 新規の中毒起因物質はどんな情報源を検索すべきか

北里大学病院薬剤部 友田 吉則

10. AccuSign®を用いた覚せい剤中毒の診断特性についての検討

前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科 小橋 大輔

11. Triage® DOAにおいて麻黄含有製剤服用者尿中の覚せい剤陽性反応を示す化合物の探索

広島大学大学院医歯薬保健学研究院法医学 奈女良 昭

12. 意識障害で救急搬送され、トライエージにてPCP陽性を認め、入院後あるいは

救急外来診療中にたこつぼ型心筋症を呈した2例

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院救急科 佐藤 琢紀

11:00～12:10

【一般演題3「患者対応（3）」】

座長：順天堂大学練馬病院 杉田 学

13. 多価ハロゲン基導入ポルフィリン配位子による新規な血中リチウム検査法と救急薬物検査への可能性

防衛医科大学校救急部 秋富 慎司

14. 尿中より覚せい剤とコカイン未変化体を検出した症例の考察

独立行政法人国立病院機構東京医療センター薬剤部 深山 靖夫

15. 合成カンナビノイドのGC-EI-MS及びGC-PCI-MS、GC-NCI-MSによる構造式の推定

東海大学医学部外科学系救命救急医学 斉藤 剛

16. 危険ドラッグの摂取による3-MeO-PCP中毒の一例

東海大学医学部外科学系救命救急医学 杉田真理子

17. 精神科的な患者対応が困難であったインスリン超大量注射例

神戸市立医療センター中央市民病院 是永 章

18. 当科を受診した危険ドラッグ使用者の2症例

岩手医科大学救急医学講座 小野寺 誠

19. ドクターヘリと消防ヘリによる救命医療により亜硝酸ナトリウムを病院前で投与し

良好な転帰をえた硫化水素中毒の多数傷病者事案

県立広島病院救急科 板井 純治

13:00～14:20

【一般演題4「自然毒」】

座長：北里大学 近藤留美子

20. 重篤な意識障害とけいれんを呈したが、ほぼ後遺症なく自宅退院となったテングタケ中毒

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 新中さやか

21. ニシグリーンマンバ咬傷からコンパートメント症候群をきたした一例

北里大学東病院精神神経科 井上 朋子

22. カバキコマチグモ咬症による広範な症状に対して局所温熱療法が有効であった1例

掛川市・袋井市病院企業団中東遠総合医療センター 大林 正和

23. 内部標準を用いたテトロドキシンの実用的分析

広島大学大学院医歯薬保健学研究院法医学 奈女良 昭

24. 多彩な中毒症状を呈した重症フグ中毒の1例

日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部（第二救急科部） 山田 裕樹

25. 血圧低下を来して搬送され、温浴治療を施行したエイ毒針刺傷の一例

国立病院機構大阪医療センター救命救急センター 大河内謙太郎

26. マムシ咬傷における抗毒素血清の有用性についての検討

長崎大学病院救命救急センター 山野 修平

27. 野草を摂取後に急性呼吸循環不全を呈した1例

独立行政法人国立病院機構東京医療センター救急科 上村 吉生

14:20～15:20

【一般演題5「工業用品」】

座長：昭和大学 山元 俊憲

28. 塩化亜鉛中毒の一部検剖

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座法医学分野 近藤 武史

29. 急性メタノール中毒の1症例

独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター 橋本 忠幸

30. 無水6価クロム酸の全身化学熱傷で治療が奏功した1例

国立病院機構高崎総合医療センター救急科 阿部 貴紘

31. 経肛門的にアルコールを注入し発症した化学性直腸結腸炎の一例

奈良県立医科大学救急医学 關 匡彦

32. 急性一酸化炭素中毒の治療における光照射の有効性

川崎市立多摩病院救急災害医療センター 田中 拓

33. 当院で経験した家庭用品、工業用品誤飲による中毒症例の検討

日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科 中井 智己

15:20～16:20

【一般演題6「医薬品（1）」】

座長：兵庫県災害医療センター 石原 諭

34. アシクロビル脳症の一例 — バラシクロビルの排泄低下を薬剤性腎機能障害が助長する —

岸和田徳洲会病院救命救急センター 薬師寺泰匡

35. 重症カフェイン中毒に続発した一過性喉頭機能障害の一例

筑波大学附属病院救急集中治療科 宮 顕

36. 興奮性せん妄をきたした塩酸ピルシカイニド中毒の1例

済生会宇都宮病院救急科 藤井 公一

37. メジコン錠を大量服用し意識障害を来した1例

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 吉岡 早戸

38. 持続濾過透析（CHDF）が有効であったピルシカイニド中毒の1例

独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター救命救急科 益満 茜

39. 未成年者による急性カフェイン中毒の3例

群馬大学医学部附属病院 中山由紀恵

# 第37回日本中毒学会総会・学術集会プログラム

第2日目 7月18日(土)

第1会場(大ホール)

9:00～10:00

## 【教育講演4】

危険ドラッグ：中毒・依存症状の発現機序

名城大学大学院薬学研究科病態解析学I 野田 幸裕

座長：日赤和歌山医療センター 阪口 勝彦

10:00～12:00

## 【パネルディスカッション「知られない、知っておくべき、知らしむべき中毒診療」】

座長：近畿大学 丸山 克之

1. 子ども虐待と判明した小児の急性薬物中毒

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院救急部 新谷 裕

2. 救急外来での検案時に病死と診断された中毒死の二例

旭川医科大学法医学講座 清水 恵子

3. 急性薬物中毒時の静注脂肪乳剤療法適用における薬物log Po/w値の評価

JA長野厚生連北信総合病院薬剤部 森川 剛

4. 界面活性剤中毒により循環血液量減少性ショックに陥った2例

公立昭和病院救命救急センター 小島 直樹

5. エチレングリコール中毒の一例 — ホメピゾール常備をどうするべきか? —

社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院救命救急センター集中治療科 爲廣一仁

6. 急性一酸化炭素中毒における光照射治療という新しい可能性の検討

聖マリアンナ医科大学救急医学教室 鹿志村 剛

7. セアカゴケグモ咬傷の全国調査の報告

香川大学医学部附属病院救命救急センター 一二三 亨

8. 【特別報告】グリホサートカリウム塩を含有する除草剤による中毒 — 多施設共同調査から —

北里大学メディカルセンター救急センター 上條 吉人

13:30～14:30

会員総会

13:30～14:30

## 【教育講演5】

海洋動物の毒

東京海洋大学大学院 長島 裕二

座長：北里大学 福本真理子

14:30～15:30

【教育講演6 クリニカル・トキシコロジスト認定セミナー】

解毒剤2:「ホメピゾール」

公益財団法人日本中毒情報センター 遠藤 容子

座長:日本中毒情報センター 黒木由美子

第2会場 (小ホール)

10:00～11:00

【白熱ディベート6「マムシ咬傷には抗毒素投与が必要である」】

座長:日本蛇毒研究所 堺 淳

Pro マムシ咬傷には抗毒素投与が必要である

熊本赤十字病院救急科 野田 慶太

Con マムシ咬傷に抗毒素投与は必要でない — 当センターで経験した31例の分析から —

日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部 辻本登志英

11:00～12:00

【白熱ディベート7「アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必須である」】

座長:大阪大学 嶋津 岳士

Pro アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必須である

北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター中毒学 福本真理子

Con アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必ずしも必要ではない

帝京大学医学部救急医学講座 山本 敬洋

13:30～14:30

【白熱ディベート8「有機リン中毒にPAMは有効である」】

座長:武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎

Pro 有機リン中毒にPAMは有効である

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院救急部 新谷 裕

Con 今暴かれるPAMの素顔:正義の味方と見せかけた詐欺師、あるいは放火を繰り返す消防士

社会医療法人緑泉会米盛病院救急科 富岡 譲二

14:30～15:30

【白熱ディベート9「インスタントビューの方がトライエージよりも有用である」】

座長:福島県立医科大学 伊関 憲

Pro 当院では濫用薬物スクリーニングキットをINSTANT VIEW M-1に変更した

聖路加国際病院救急部・救命救急センター 大谷 典生

Con 当施設におけるトライエージDOAの使用状況とインスタントビュー・M1の比較

— 臨床検査技師の視点から —

日本赤十字社和歌山医療センター検査部 松岡 徳登



16:00～17:00

クリニカル・トキシコロジスト認定試験

### 第3会場（特設会議室）

9:00～10:00

#### 【一般演題7「医薬品（2）」】

座長：東京医療センター 菊野 隆明

##### 40. 徐脈・意識障害にて来院した高Mg血症の1例

公益財団法人大原記念倉敷中央病院機構倉敷中央病院救命救急センター救急科 宮内 直人

##### 41. 血漿交換療法が著効し心停止から後遺症なく救命したテオフィリン中毒症の1例

岡山大学病院高度救命救急センター 塚原 紘平

##### 42. 吸収過程が遷延した急性テオフィリン中毒の1症例

三重大学医学部附属病院薬剤部 榎屋 友幸

##### 43. エペリゾン塩酸塩中毒により薬剤性QT延長を来した1例

さいたま赤十字病院救命救急センター救急医学科 岩谷 洋介

##### 44. 当院で経験したリチウム中毒の二例

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 田中 真生

##### 45. 炭酸リチウム過量服薬に対して早期胃洗浄及び持続的血液透析が著効した一例

東京慈恵会医科大学附属柏病院救急部、東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 森澤 紀彦

10:00～10:50

#### 【一般演題8「医薬品（3）」】

座長：新潟市民病院 堀 寧

##### 46. 服用24時間で致死的経過をたどったアスピリン大量服用の1例

青梅市立総合病院救急科 河西 克介

##### 47. 診断に難渋したジフェンヒドラミン、ジプロフィリン配合剤（トラベルミン®）大量内服の1例

藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座 竹中 信義

##### 48. 先天性心疾患に合併した難治性心房粗細動に対するアミオダロンにより誘発された甲状腺中毒症の一例

日本赤十字社和歌山医療センター循環器内科 鄒 佳苗

##### 49. 自殺目的で外用殺菌消毒薬を内服し救命しえた1例

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター救命救急センター 野島 剛

##### 50. プレガバリン大量服薬の一例

群馬大学医学部附属病院 岡田 純一

10:50～11:40

#### 【一般演題9「医薬品（4）」】

座長：和歌山県立医科大学 加藤 正哉

##### 51. DHP施行後におけるバルビツレートの体内薬物動態

兵庫県災害医療センター 豊田 将平

52. 慢性疼痛治療薬（貼付薬）による意識障害が疑われた一例

横須賀市立うわまち病院救命救急センター 本多 英喜

53. 末期のCKDを合併した骨粗鬆症に投与されたデノスマブによる遷延性の低カルシウム血症の1例

大阪府立急性期・総合医療センター 山本 篤史

54. スルピリド中毒の可能性が示唆された多剤服用死亡例

名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学 石井 晃

55. 薬物消失期における胃内容と血液のカルバマゼピン濃度の関係 — 基礎実験による検証

川崎医科大学衛生学教室 吉留 敬

13:30～14:20

【一般演題10「農薬」】

座長：広島大学 奈女良 昭

56. 長期人工呼吸管理を要する閉じ込め症候群を呈したネオニコチノイド系農薬による急性中毒の一例

東北大学病院卒後臨床研修センター 鎌田 裕基

57. 有機リン中毒が関与した法医学解剖4事例

島根大学医学部法医学講座 藤原 純子

58. ジメチル型有機リン系殺虫剤中毒に対する腸洗浄とPAMによる治療成績

岩手医科大学救急医学講座 藤野 靖久

59. ハイドロサルファイト還元による尿中パラコート定性分析の内因性物質による干渉試験及び前処理法の検討

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター医療局医療技術部臨床検査科 白田 忠雄

60. グリホサート含有除草剤（商品名コンパコレール）中毒の一例

大津赤十字病院高度救命救急センター 保倉 祥太

14:20～15:20

【一般演題11「家庭用品」】

座長：南和歌山医療センター 川崎 貞男

61. 硫化水素中毒の2例

千葉県救急医療センター 藤芳 直彦

62. トイレ用酸性洗浄剤を経口摂取後に腐食性食道炎、胃穿孔、腹腔内出血を生じOpen abdomen managementにより救命し得た1例

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 廣瀬 智也

63. 防水スプレー製品等による中毒事故の傾向およびその安全対策の動向

国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部 河上 強志

64. ヘリウムガス中毒により自殺した1例

日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター 山村 英治

65. 小児のタバコ誤食の現況

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院救急部 新谷 裕

66. 自宅内の「囲炉裏」による一酸化炭素中毒の3事例

JCHO徳山中央病院 山下 進